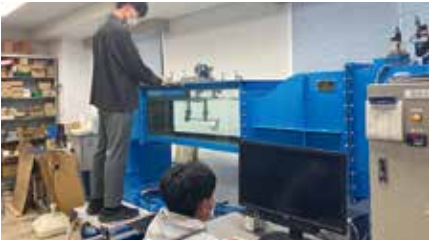


教育・研究



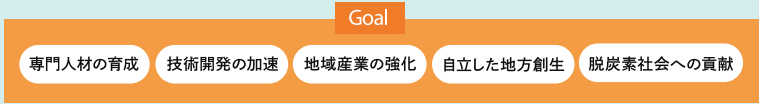
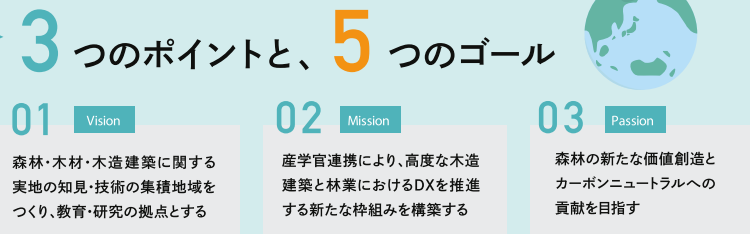
岡山大学工学部工学科環境・社会基盤系

工学部工学科環境・社会基盤系都市環境創成
コースは、自然に対する畏敬の念を持ち、美しく豊かな国土と持続可能な社会づくりを使命とします。
このコースでは、社会基盤システムの計画的な利
活用と工学的なイノベーションによって、自然災害等
の被害を減らし、安全な都市・社会の構築を行うと

ともに、我が国が交流・交易の促進によって世界経済の発展に対し継続的に役割を果たしていくための社会基盤システムを構築する土木及び建築に携わる人材を養成します。また、地域の個性が発揮され、各世代が生きがいを持てる社会の礎の構築に貢献する人材を育てます。

産官学で構築する
「共育共創」学びのフィールド

林業・木材・木造建築
教育・研究ゾーン



岡山大学グリーンイノベーションセンターとは？

カーボンニュートラルに伴う、地域のグリーン成長戦略を支える
人材育成と科学技術開発の拠点

SDGs推進研究大学である岡山大学は、カーボンニュートラル戦略本部を設置し、地域のグリーン成長戦略を支える人材育成と技術開発の拠点として、「グリーンイノベーションセンター」を組織整備。脱炭素社会・地域循環共生圏・地方創生の実現に資する2部門を設置し、教育研究を展開するものです。

県北地域の林業・木材産業振興に取り組む

木造建築・林業・サプライチェーン部門

●岡山県が製造量で全国一の人工林以外の木材も利用可能な直交集成板CLTによる木造建築高層化、BIM化

●次世代木質材料研究 ●木材サプライチェーン・マネジメント

森林から建築まで、大きなサイクルの中で学んだ建築士・
能者の育成を目指す「木造建築・林業・サプライチェーン部門」に
都市環境創成コースの教員・学生が参加しています。

共育共創コモンズ
CLTを用いた木造建築の教材
隈研吾特別招聘教授監修



岡山大学工学部工学科環境・社会基盤系
都市環境創成コース
〒700-8530 岡山市北区津島中 3-1-1

<https://urban.okayama-u.ac.jp/>
 email : uedtrack@okayama-u.ac.jp
 Tel.086-251-8864



入学者選抜実施方法

学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課さない)、一般選抜(前期日程)、国際バカロレア選抜及び私費外国人留学生学生選抜を実施します。入学者選抜は系ごとに実施され、2年次からコースへ配属されます。一般選抜で課す科目は以下のとおりで、**都市環境創成コースへの配属を希望する場合は、物理が必須です。**

【一般選抜(前期日程)】

| 大学入学共通テスト | |
|-----------|---------------------------------|
| 国 | 国 |
| 地歴 | 世B、日B、地理B |
| 公民 | 現社、倫、政経、倫、政経 |
| 数 | 必須：数Ⅰ・数A、選択：数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、会、情 から1つ |
| 理 | 必須：物、選択：化、生 から1つ |
| 外 | 英、独、仏、中、韓 から1つ |

個別学力検査等

| | |
|---|-----------------|
| 数 | 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B |
| 理 | 必須：物、選択：化、生から1つ |
| 外 | 英 |

取得可能免許

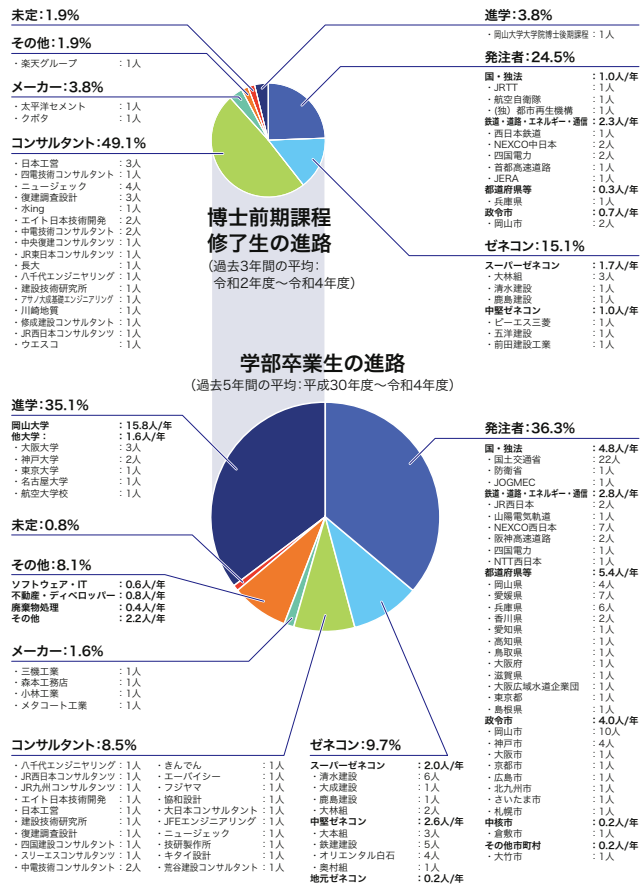
■ 高等学校教諭一種免許状(工業)

資格

- JABEE認定プログラム修了(技術士第一次試験免除)
 - 測量士(実務経験を要します)
 - 一級土木施工管理技士受験資格(実務経験を要します)
 - 一級建築士受験資格(免許登録には実務経験を要します)
- ※土木教育プログラムに進んだ学生も、建築プログラムの科目を履修することで、一級建築士受験資格を得ることができます。

大学院

■ 一級建築士の免許登録に必要な実務経験要件となるインターンシップを実施します。





木質構造設計学研究室

CLTなどの最新の木質材料を用いて、地震や火災に強い高層木造建築を作るだけでなく、構造デザインと研究開発の相乗効果で美しい形や豊かな空間を木質構造で実現します。



福本晃治准教授



耐震構造設計学研究室

構造物では地震、風、交通などによる振動が問題になることがあります。耐震・耐風設計法や最新の制振・免震技術の他、振動を利用した発電技術など世界最先端の脱炭素技術にも取り組んでいます。



比江島慎二教授



アルワシャリハモド准教授



鋼構造設計学研究室

橋梁などの鋼構造インフラは主要な都市基盤です。鋼構造の基礎知識だけでなく、次世代の点検技術など鋼構造における世界最先端のスマートインフラ技術を学べます。



西山哲教授



木本和志准教授



水工学研究室

気候変動に伴う豪雨や巨大地震による津波など、社会に甚大な影響を及ぼす水災害が発生しています。水災害を防止・軽減するための社会基盤を整備し、安心して暮らせる持続可能な社会を実現します。



吉田圭介准教授



赤穂良輔准教授



地盤・地下水学研究室

豪雨などによる自然災害による被害を少なくするために、地盤および地下水を調査して事前の予知や対策を行うことが重要です。



竹下祐二教授



小松満教授



建築設計学研究室

生活空間が拡張し、都市と地域の境界や距離が曖昧になっていく現代において、建築の在り方も拡張しています。新しい時代に呼応する建築空間とその設計手法を考察し、その土地や地域社会に融合する建築デザインの実践を行います。



川西敦史准教授



建築計画学研究室

建築空間から集合住宅、施設計画、都市空間の計画や、建築に関わる歴史・計画・法制度について、世代を超えて受け継がれる地域の文脈や文化を念頭に置きながら、国内外のフィールドワークを通じて教育研究を行います。



堀裕典准教授



橋田竜兵講師



都市・交通計画学研究室

少子・高齢化社会において持続可能な都市が求められています。安心・安全で活力のある都市と交通を実現します。



橋本成仁教授



樋口輝久准教授



氏原岳人准教授



木質材料学研究室

森林は国土の約2/3をしめており、資源の少ないわが国にとって、森林資源は貴重です。しかも再生産可能で、持続可能な社会を実現するために利活用していくことが重要です。



中村昇教授



コンクリート構造設計学研究室

高度経済成長期に建設された多くの構造物で劣化が顕在化しています。持続可能な発展を実現する社会を構築するために、新設の構造物だけでなく、既存の社会基盤を長持ちさせる研究開発を行っています。



綾野克紀教授



藤井隆史准教授



都市・建築環境学研究室

持続可能な地球を維持しつつ、快適な都市環境を実現するために、これから構築していくべき都市や建築、さらには関連するエネルギーシステムやエネルギーリテラシーの在り方を明らかにするための研究・教育を行っています。

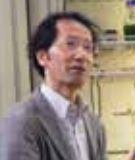


鳴海大典教授



水質衛生学研究室

衛生的で持続可能な都市環境を築くために、都市と環境間での物質循環に着目しながら、新しい水処理技術、水環境の保全技術など、環境を構成し生命維持に欠かせない水の質に関する研究を行っています。



永禮英明教授



橋口亜由未助教